

## 2020 年度事業 進捗報告書（実行団体）

- 提出日 : 2022年9月26日
- 事業名 : コミュニティ型こどもホスピスの創造
- 資金分配団体 : 公益財団法人原田積善会
- 実行団体 : 特定非営利活動法人横浜こどもホスピスプロジェクト

### ① 実績値 期間は4月～8月末

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況 *
1-①-A:癒しの環境を提供する	・「うみとそらのおうち」利用者延べ人数	・利用者数 300人	2024年3月	55人 ・11月の開所であり想定通りの進捗である	2
1-①-A:癒しの環境を提供する	・環境づくりのワークショップ回数	・ワークショップ回数 3回	2024年3月	1回 ・壁画ワークショップを2021/11/7、お庭づくりのワークショップを2022/6/5に開催した。 2022年度はお庭づくりのワークショップを季節ごとに開催予定	1
1-①-A:癒しの環境を提供する	・利用者の声	・環境に対する肯定的な反応	2024年3月	利用者である子どもからは「また来たい」「帰りたくない」「もっと遊びたい」といった声、両親や親戚からは「あたたかい」「ほっとする」といった声が、肯定的な反応として得られている(いまのところ否定的な反応は聞かれていない)。また、利用者からの紹介での利用希望もきかれています	2

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況*
1-①-B: 地域社会とのつながりを感じられる環境を提供する	・ボランティア登録者数	・年間登録者数の増加	2024年3月	227人 ・ボランティア登録者は、2022/4/15時点で194人であり増加している	1
1-①-B: 地域社会とのつながりを感じられる環境を提供する	・地域交流カフェ	・地域交流カフェ月1回	2024年3月	4回 ・2021/11/28に地域向け見学会(50人参加)、2022/5/21移動図書館(57人参加)、2022/9/4(261人参加)メリーゴーランド、2022/8/9と9/13にグリーンカフェを開催した。 新型コロナウイルス感染症の状況にあわせてのタイミングと内容で開催している	4
1-②-A: LTCの子どもと家族のニーズを把握する	・アセスメントツールの使用人数	・アセスメント使用人数 50人	2024年3月	0人 ・8歳以上に適応されるツールであり、アセスメントツールを用いてニーズの把握が必要な該当者(ニーズの言語化難しい)がいないため想定通りである。 アセスメント内容や対象の検討、パイロットテスト(検証)の実施に向けてツールを開発中。11月には試作が完成しパイロットテストを開始していく予定	2
1-②-B: ニーズに応じたケア提供を家族と共有しながら行う(直接ケア・相談・調整)	・ケア提供(直接ケア/相談/調整など)の回数	・ケア提供回数 300回	2024年3月	55回 ・8歳未満やニーズの言語化が可能な利用者においては、アセスメントツールを用いずにニーズの聴き取りを行い、それに応じたケア提供を	2

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況 *
				している。11月の開所であり想定通りの進捗である	
1-②-B: ニーズに応じたケア提供を家族と共有しながら行う(直接ケア・相談・調整)	・アセスメントに基づいて、利用者のニーズを検討したカンファレンスの回数	・各利用者に1回以上はアセスメントおよびニーズを検討するカンファレンスを開催する	2024年3月	30回(1~6回/人) ・11月の開所であり想定通りの進捗である	2
2-①-A: 現状を把握するための調査・分析を行う(地域診断を行う)	・ステークホルダーによる地域の課題の見解(課題の認識の有無・述べられた課題の内容)	・地域の課題が抽出できる ・地域診断の結果を報告書にまとめる	2024年3月	小児緩和ケアネットワークコアメンバー会議より、地域の小児緩和ケアの課題として下記 「LTCの子ども的人数は少ない上に、稀な疾患が多く、病態が多様で複雑なニーズを有するため、経験が蓄積されにくい」「小児緩和ケアを提供できる専門家(人材)が不足しており、LTCの子どもにかかわる医療者の個人の技量がケアの質に大きく影響している現状がある」「医療機関ごとで完結しており、施設をこえて協力し合う文化がない」 ・2022年度は、2021年度までに捉えた地域の課題を整理し直し、医療以外のステークホルダーの見解なども得られる機会を設定し、地域コミュニティの社会・人的資源の体系的な把握にもつなげられるよう、どのような機会をもつことが実現可能で有効なのか検討中である。	2
2-①-B: 現状を地域コミュニティ	・ワークショップの開	・4回/年	・2024年3	2021年度3回(小児緩和ケアネットワークカン	2

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況 *
ィと共有する	催回数		月	ファレンス：9月・12月・3月) 2022年度1回（小児緩和ケアネットワークカンファレンス5月） ・年間予定をもって開催し計画通りに進んでいる	
2-①-B：現状を地域コミュニティと共有する	・ワークショップの参加者数	・参加者数の増加	・2024年3月	延べ30人（2021年度は各回57人/46人/28人/11人） ・参加者数は増加傾向ではないが、新型コロナウイルス感染症拡大による臨床家の参加の難しさや大人数が効果的ではないワークショップ内容のため広報範囲の縮小など、参加者数の動向は想定範囲内である	2
2-②-A：こどもホスピスの周知・広報活動を行う	・リーフレットの種類	・新たに3種類作成	2024年3月	1種類（ご紹介チラシ） ・2021年度は、利用案内・おうちガイド・ご支援のかたち簡易版を作成。さらに支援者向けリーフレットを作成中 ・計画通りに着手できている	1
2-②-A：こどもホスピスの周知・広報活動を行う	・動画作成本数	・新たに3本作成	2024年3月	0本 ・2021年度までに、開所までの軌跡（日本語版・英語版）・おうち紹介動画2本）を作成済み。計画以上の進捗である	1
2-②-A：こどもホスピスの周知・広報活動を行う	・施設見学（内覧会含む）の開催回数	・1回/月	2024年3月	63回（見学者数412名） ・新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じて（まん	1

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況 *
				防など)、見学対応は中止をしていた期間があったにも限らず、想定以上の見学希望者数であった。開所時にメディアに取り上げてもらったこともあり、効果的な周知・広報ができた	
2-②-B: 地域リソースの情報が集まる仕組み・他のリソースへの連携の仕組みを作る	・関係機関からの紹介件数	・関連機関からの紹介件数が増加する	2024年3月	6件 ・紹介件数は、2022年4月時点で2件であり増加している。11月の開所からの実績であり想定通りの進捗である	2
2-②-B: 地域リソースの情報が集まる仕組み・他のリソースへの連携の仕組みを作る	・地域ネットワークに関する話し合いの数	・1回/月	2024年3月	1回/月程度(延べ回数2回) ・小児緩和ケアネットワークカンファレンスのコアメンバー会議を2021年7月より1回/月程度開催し計画通りに進んでいる	2
2-②-B: 地域リソースの情報が集まる仕組み・他のリソースへの連携の仕組みを作る	・地域リソースとの協働によるワークショップの開催	・2回/年	2024年3月	2021年度1回 2022年度4回 ・地域の大学病院と小児専門病院と協力して小児緩和ケアネットワークカンファレンス(2021年9月・10月・11月・2022年2月・6月・7月)、を開催し計画通りに進んでいる	1

\*進捗状況: 1 計画より進んでいる、2 計画どおり進んでいる、3 計画より遅れている、4 その他

## ② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの内容 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの表現 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの指標 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値
5.新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点
・オンラインを活用しできるだけ対面や参集型での活動を避けるように留意した ・新型コロナウイルス感染拡大時には（近隣の医療機関が受けている影響なども含めて）、利用者を優先として、それ以外の施設内の立ち入りを制限した

## ③ 広報（※任意）

1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）

【「横浜こどもホスピス～うみとそらのおうち」開設に関連した報道】

- 2021年8月31日 日本経済新聞  
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOCC2985Y0Z20C21A7000000/?msclid=b20b33a9b8bb11ec8d2c1edb2152c235>
- 2021年8月31日 ナウティスニュース（元記事 日本経済新聞）  
<https://nowtice.net/news/1776479/?msclid=21118e0fb8bd11ecbf10c9a4f2e62065>

【横浜市長による「横浜こどもホスピス～うみとそらのおうち」開設の記者発表に関連した報道】

- 2021年11月9日 横浜市記者発表  
<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/iryo/2021/default20211108.html?msclid=8eb2fcb8b8ba11ec808c05fce95285cb>
- 2021年11月11日 朝日新聞  
<https://www.asahi.com/articles/ASPCB761JPC9ULOB00G.html?fbclid=IwAR38b8tsoh-vAkRuP7-Emq93tOyVghB7jCDYKztsbhXo4HnAUDGjnRE9CGo>
- 2021年11月13日 神奈川新聞社  
<https://www.msn.com/ja-jp/news/national/%E5%AD%90%E3%81%A9%E3%82%82%E3%81%AE%E7%AC%91%E9%A1%94%E5%AE%88%E3%82%8B%E5%A0%B4%E3%81%AB-%EF%B>

[C%92%EF%BC%91%E6%97%A5-%E6%A8%AA%E6%B5%9C-%E9%87%91%E6%B2%A2%E5%8C%BA%E3%81%AB%E3%83%9B%E3%82%B9%E3%83%94%E3%82%B9%E9%96%8B%E6%89%80/ar-AAQErTm?msckid=bffd3dad8bd11ecaafbe7014e6a5dd8](https://www.nhk.or.jp/news/html/20211117/k10013356381000.html?msckid=13a69433b8bb11ecbdc7364b2a2ec66)

- 2021年11月13日 J:COM (元記事 神奈川新聞社)  
[https://news.myjcom.jp/localnews/story/nor\\_kanagawa\\_832155969990410240.html?msckid=d30ca3efb8be11ecbe92bb7b1dea2073](https://news.myjcom.jp/localnews/story/nor_kanagawa_832155969990410240.html?msckid=d30ca3efb8be11ecbe92bb7b1dea2073)
- 2021年11月16日 産経新聞  
<https://www.sankei.com/economy/news/211116/prl2111160903-n1.html?msckid=b20abdbfb8bb11ec9e26df1a03bda39f>
- 2021年11月16日 川崎経済新聞  
<https://kawasaki.keizai.biz/release/97303/>
- 2021年11月18日 読売新聞  
<https://www.yomiuri.co.jp/local/kanagawa/news/20211117-OYTNT50177/>

【「横浜こどもホスピス〜うみとそらのおうち」の落成と開所に関連した報道】

- 2021年11月21日 NHK NEWS WEB  
<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20211121/k10013356381000.html?msckid=13a69433b8bb11ecbdc7364b2a2ec66>
- 2021年11月21日 静岡新聞  
<https://www.at-s.com/news/article/national/989420.html?msckid=8ada142cb8be11eca7a353b3f3b12202>
- 2021年11月21日 北國新聞  
[https://www.hokkoku.co.jp/articles/gallery/586462?img=https://hokkoku.ismcdn.jp/mwimgs/0/d/150wm/img\\_0db6164dd46f1092b0f7dd229eddd3a424635.jpg](https://www.hokkoku.co.jp/articles/gallery/586462?img=https://hokkoku.ismcdn.jp/mwimgs/0/d/150wm/img_0db6164dd46f1092b0f7dd229eddd3a424635.jpg)
- 2021年11月21日 徳島新聞
- 2021年11月21日 千葉日報  
<https://www.chibanippo.co.jp/newspack/20211121/851726>
- 2021年11月21日 山形新聞  
[https://smart1.yamagata-np.jp/news\\_core/index\\_prepr.php?par1=Science\\_Environment\\_Health&par2=2021112101000522](https://smart1.yamagata-np.jp/news_core/index_prepr.php?par1=Science_Environment_Health&par2=2021112101000522)
- 2021年11月21日 nippon.com  
<https://www.nippon.com/ja/news/kd835063968197230592/?msckid=b20a958fb8bb11eca0c7409aec52e4dd>

- 2021年11月21日 共同通信社  
<https://nordot.app/835063968197230592?c=302675738515047521>
- 2021年11月21日 日経新聞  
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUE2122Y0R21C21A1000000/>
- 2021年11月21日 毎日新聞  
<https://mainichi.jp/articles/20211121/k00/00m/040/119000c?msclkid=b20ae4bcb8bb11ecaac8be02f79b8c72>
- 2021年11月21日 東京新聞  
<https://www.tokyo-np.co.jp/article/144061>
- 2021年11月21日 yahoo news (元記事 共同通信社)  
<https://news.yahoo.co.jp/articles/c2395f99c5baa9efe47559a3b0fa5de89fb730a3?msclkid=b20b0e05b8bb11ecb3bee7acffa0cd33>
- 2021年11月21日 47NEWS (元記事 共同通信社)  
<https://www.47news.jp/7076992.html?msclkid=594ff36ab8be11ec9bfef6c5beb74993>
- 2021年11月21日 NHK 全国  
<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20211121/k10013356381000.html>
- 2021年11月21日 テレビ神奈川  
<https://news.yahoo.co.jp/articles/a888b9aeb3d3267ea8cba2b6fff5a37dfe7b4c1c>
- 2021年11月21日 朝日オンライン  
<https://digital.asahi.com/articles/ASPCP4TNBPCPUTIL00Q.html>
- 2021年11月22日 東京新聞 TOKYO Web d menu ニュース  
<https://topics.smt.docomo.ne.jp/article/sukusuku/life/sukusuku-49309?msclkid=13a6e04eb8bb11ec924c00f10e43a2f5>
- 2021年11月24日 朝日新聞 朝刊 社会面  
<https://www.asahi.com/articles/DA3S15121317.html>
- 2021年11月25日 毎日小学生新聞  
<https://mainichi.jp/maisho/articles/20211125/kei/00s/00s/017000c?msclkid=b20a7053b8bb11ecb3156f3fd5266e84>
- 2021年12月6日 LOCAL GOOD YOKOHAMA  
<https://yokohama.localgood.jp/news/40531/?msclkid=21116526b8bd11ecb2c13de137b1a1a5>

### 【横浜こどもホスピスの実際の利用に関連した報道】

- 2022年1月8日 毎日新聞
- 2022年3月3日号 タウンニュース 金沢区・磯子区版  
<https://www.townnews.co.jp/0110/2022/03/03/615353.html?msclkid=13a73b04b8bb11ec97c3622bcb213df3>
- 2022年3月6日 NHK 総合 【おはよう日本】  
<https://jcc.jp/news/18196060/?msclkid=16a89bdeb8be11ec873a3703da796438>
- 2022年3月15日 NHK WEB 特集  
<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20220315/k10013530171000.html?msclkid=8eb31d9db8ba11ecbdf66e1988bc3a13>
- 2022年4月30日 13:30～ ラジオ文化放送 (JOQR) ロンブー淳の NewsCLUB
- 2022年5月1日 17:50～ NHK 手話ニュース
- 2022年5月11日 YouTube NHK おはよう日本
- 2022年5月28日 17:30～ TBS 報道特集
- 2022年6月3日 19:30～ NHK首都圏情報 ネットドリ！
- 2022年6月10日 YouTube TBS 報道特集
- 2022年7月14日 夕刊 朝日新聞社「一語一会」
- 2022年7月27日 7:45～ NHK おはよう日本(関東甲信越)
- 2022年7月29日 18:30～ NHK 総合「首都圏ネットワーク」
- 2022年8月16日・8月23日・8月30日 日経新聞「医療・健康 向き合う」(3回の連載)
- 2022年8月25日 10:15～10:30 湘南ビーチ FM「モアナピープル」

## 2.広報制作物等

### 【動画】

- 2022年2月に YouTube にアップ  
「横浜こどもホスピス～うみとそらのおうちができるまで」  
[https://youtu.be/iS4\\_xl2fXU](https://youtu.be/iS4_xl2fXU)

(短縮版) <https://youtu.be/s3Fiqr2EXcY>

- 2022年2月にYouTubeにアップ(上記の英語版)  
<https://youtu.be/NO75CKJL3Vs>

【リーフレット等】

- 2021年11月制作「利用案内」1000部
- 2021年11月制作「おうちガイドマップ」1000部
- 2021年12月制作「ご支援のかたち」
- 2021年4月制作 こどもホスピスチラシ

3.報告書等

なし

## 2020 年度事業 中間評価報告書（実行団体）

評価実施体制 「実施状況の適切性」「実施を通じた活動の改善、知見の共有」「組織基盤強化・環境整備」

内部／ 外部	評価担当分野	氏名	団体・役職
内部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施状況の適切性</li> <li>・アンケート結果の評価・利用者の声の評価</li> </ul>	職員 4 名 職員 6 名	実行団体職員（LTC の子どもの遺族である当事者、看護師、保育士）
内部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施を通じた活動の改善、知見の共有</li> </ul>		資金分配団体の担当者

### A) 事業のアウトカムの進捗状況の評価

#### ① 短期アウトカムの進捗状況

アウトカムで捉える変化の主体	指標	目標値	達成時期	これまでの活動をとおして把握している変化・改善状況
1.LTC の子どもと家族が、自宅と病院以外に居場所ができ、安心して過ごせる（中長期アウトカム 1）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開所の有無</li> <li>・年間利用登録者数</li> <li>・ケア提供者がとらえた利用者の安心感の利用前後の変化</li> <li>・ケア提供者がとらえた利用者の充実感の利用前後の変化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもホスピスが開所され、居場所がある状態になっている</li> <li>・年間利用登録者数が増加する</li> <li>・ケア提供者が、利用者によるこどもホスピスの居場所が与える影響として、不安軽減の変化をとらえている</li> <li>・ケア提供者が、利用者によるこどもホスピスの居場所が与える影響として、充実感の変化をとらえている</li> </ul>	2023 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2021 年 11 月 21 日に横浜こどもホスピス～うみとそらのおうちが開所され、LTC の子どもと家族が居場所として利用している。</li> <li>・LTC の子どもの家族は、とくに見学や初回利用時には、これまで孤立していた状況や心情を吐露したり、流涙したりすることも多くあり、安心感をもって、不安を表出できる居場所として活用していると考えられる。</li> <li>・利用によって、やりたいと思う遊びが思いっきりできたことによる達成感や満足感から、「また来たい」という言葉や、「今度はこれをやりたい」といった次回の利用に向けての期待や意欲につながっている。</li> </ul>

アウトカムで捉える変化の主体	指標	目標値	達成時期	これまでの活動をとおして把握している変化・改善状況
2.LTC の子どもと家族が、ニーズに応じたホスピスケアを受けられる (中長期アウトカム1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケア提供者がとらえた利用者のケアに対するニーズ充足の状況</li> <li>・ソーシャルサポート（こどもホスピス利用により新たに生まれたソーシャルサポート）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケア提供者が、利用者の声や状態の変化として、受けたケアに対してニーズと関連した肯定的な変化があったと評価する</li> <li>・利用により新たに知覚されるソーシャルサポートが生まれる</li> </ul>	2023年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の感想として、子どもからは「楽しかった」「やりたいことができた」、家族からは「幸せな時間を過ごすことができた」や「制限されたなかでもできることがあるということに気づくことができ現状をポジティブにとらえられるようになった」といった変化の自覚が語られることもあり、ニーズに応じたホスピスケアが受けられている。</li> <li>・こどもホスピスのスタッフとのかかわりを通して「一人ではないということに気づくことができた」という言葉が聞かれたり、長年会うことができていなかった親族や友人などこどもホスピスを利用して再開したり、利用者同士が SNS 上でつながり、それぞれの経験や情報を共有し合ったりと、新たに知覚されるソーシャルサポートが生まれる場となっている。</li> </ul>
3.地域コミュニティが、LTC の子どもと家族の社会生活における悩みや課題を認知し、共に活動したり支援してくれる仲間が増える (中長期アウトカム2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップ前後で、地域コミュニティのメンバーが LTC の子どもの悩みや課題の認知の変化の度合い</li> <li>・新たにかかわってくれた支援者（ボランティア・支援者）の人数</li> <li>・ボランティアや支援者の背景の種類</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップ参加後に、地域のコミュニティの課題の認知の度合いが前より深まったと評価する</li> <li>・地域コミュニティのメンバーで共に活動してくれるボランティアや支援者が増える（ボランティア 150 人、賛助会員の個人 500 人・法人 150 社）</li> <li>・ボランティアや支援者の背景の多様性がより豊かになる</li> </ul>	2024年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップ（ネットワークカンファレンス）参加後のアンケートでは、ワークショップのテーマに関連した課題の重要性の認識として、各回で8割以上が「とても深まった」あるいは「深まった」と評価していた。「課題は山積しているが、地域のなかで目標を同じくして取り組んでいる仲間の存在をしることができた「それぞれの取り組みや経験知を共有することで前に進んでいくと感じられた」といった感想がきかれた。地域コミュニティが LTC の子どもと家族の社会生活における課題を認知し共有する機会となっている。</li> <li>・ボランティアや支援者数は増えている。ボランティアは、「ハウスキープ」「お庭」「裁縫」「翻訳」「デザイン」「動画編集」「広報・</li> </ul>

アウトカムで捉える変化の主体	指標	目標値	達成時期	これまでの活動をとおして把握している変化・改善状況
				イベント」や専門職のボランティアなど、個人の特技やスキルを活かせる分野で活躍してくれている。 ・ボランティアのグループのなかで、「動画編集」や「デザイン」などは、開所後の利用者のニーズに応じて後から募集を開始したボランティアであり、地域コミュニティにおける多様な背景をもつ人材が LTC の子どもや家族、および子どもホスピスの仲間として集っている。
4.地域コミュニティが、子どもホスピスの役割と機能を認知し、協働できる（中長期アウトカム2）	・地域コミュニティのメンバーとの協働による活動数 ・地域コミュニティのメンバーと協働して開催した活動の種類	・地域コミュニティとの協働による活動が増える ・活動にかかわる地域コミュニティのメンバーが増えて、活動の多様性がより豊かになる	2024年	・小学校での人権教育、移動図書館、子ども園の夏祭り、地域住民や企業主催のイベント、スポーツイベントなどでの広報周知活動など、地域コミュニティが「子どもホスピス」の役割と昨日を認知し、さらに広げるために協働できる活動の提案を主体的に行ってくれるなど、活動は広がっている。



② アウトカムの分析「⑧アウトカムの達成度」(※任意)

評価小項目	評価小項目の評価結果	評価結果の考察
1.LTC の子どもと家族が、自宅と病院以外に居場所ができ、安心して過ごせる	・利用によっての安心感や充実感が得られていると評価できるような言動や行動の変化がみられた。	利用につながった LTC の子どもと家族にとっては、左記の内容や繰り返しの利用希望など、自宅と病院以外に安心して過ごせる居場所となっていると考えられる。



事業のアウトカムの進捗評価	評価結果の考察
<p>事業のアウトカムの進捗の程度は、事業終了時には</p> <p><input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値を上回っての達成の見込みがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値の達成の見込みがある</p> <p><input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値はおおむね達成できる見込みがある</p> <p><input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値の達成は不透明である</p> <p><input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値の達成は難しい</p> <p>と自己評価する</p>	<p>LTC の子どもと家族の心理社会的な孤立の軽減として、こどもホスピスという居場所を提供することができた。こどもホスピスをより必要とする（孤立している）対象に向けてのアプローチを検討していきたい。また、開所することはできたが、今後の持続的な運営のために、さらに地域コミュニティとの協働やボランティア人材の積極的な活用の方法を検討していく必要がある。</p>

## B) 事業の改善状況の評価

### ① 事業の実施過程・事業改善に関する評価

評価項目	評価小項目	評価結果	考察
実施状況の適切性	事業は計画通りに進んでいるのか	状況やニーズに応じた利用提供および実施内容の変更により、計画通りに進んでいると判断する	<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、利用家族を1日1家族に限定するなどの制限を設けざるを得なかったが、利用家族がこどもホスピスと一緒に過ごしたい人として、他のLTCの子どもと家族を誘い合わせて利用してくれるケースなどもあり、結果的に利用機会を提供できたケースの件数としては概ね計画通りに進んでいると判断できる。</p> <p>また、地域交流カフェなど、特に対面や参集型で予定していた一部の事業の実施内容や方法の変更（参加人数の限定や頻度の減少）が生じているが、個人に向けた見学会を重ねて、参加者の声を拾い上げることによって、ニーズに応じた地域交流の展開となり、概ね「計画通りに進んでいる」と判断できる。</p>
実施をとおした活動の改善、知見の共有	アウトプット発生に影響を与えた阻害・貢献要因は何か	こどもホスピスの利用を促進する要因として、利用イメージをとらえやすい資材を活用した広報周知活動が有用であると考えられる。こどもホスピスをより必要とする対象に届けるために、それらの資材を積極的に活用した広報周知活動を展開していく	<p>こどもホスピスの開所当初は、現状の過ごし方を変えたいというニーズを明確に持ち、情報を入手するための行動をとることができた子どもや家族が利用しているという状況であった。その後、こどもホスピスを実際に利用した子どもや家族が、さらに、それを必要とするLTCの子どもと家族の利用につながる行動（誘い合わせての利用や紹介）、広報周知活動（SNSでの発信やメディア取材の協力など）に協力をしてくれたため、利用や社会的認知が広がった部分がある。</p> <p>こどもホスピスの施設や子どもや家族が過ごす様子などの写真や動画を目にすることによって、実際の利用や支援という行動につながったという声が多数聞かれた。広報周知活動において、利用イメージをとらえやすい写真や動画などのツールが有用であるという感触も得たため、これまで作成してきた動画などの広報資材を積極的に活用しての活動をより展開していきたい。</p>

評価項目	評価小項目	評価結果	考察
組織基盤強化・ 環境整備	組織の体制・事業体制は事業目標に対して適切かつ十分か	コロナ禍の影響を受けて、スタッフを中心とした事業展開となっていた。感染に留意をしながら、事業における業務内容を整理し、ボランティアが活躍できるような活動の内容と機会を増やしていく	ボランティアや支援者数は増加しているが、コロナ禍であり、LTC の子どもの易感染状態という特性や今年度の新型コロナウイルス感染症が子どもの間で流行しやすかったなどの状況から、ボランティアの活躍機会を十分に設定することが難しく、分野を限定してのボランティア募集（施設内で実施しないものや特別なスキルが必要な分野）や活動が中心となっていた。 地域コミュニティにおける人々の力や強みを生かせるように、感染に留意しながらも、活躍できるような場（状況）や方法を整理していきたい。 これまでの事業展開において、スタッフが実施していた業務のなかでも内容を整理しマニュアル化できるようなものも出てきたため（広報周知活動における見学会やイベントなどでの広報ブースの運用など）、組織の体制や事業体制において、持続可能性を高めるという意味でも、ボランティア活動の内容と機会を増やしていきたい。

## ② 短期アウトカムの状態の変化・改善に貢献した要因や事例

・利用者が「こどもホスピス」での利用の体験を SNS やメディアを通して、社会に発信をしてくれたことが、大きな要因の一つである。彼らが、「こどもホスピス」での体験を自分たちのものだけにするのではなく、同じような状況下にある仲間の力になりたいという思いから、「こどもホスピス」を必要とする人に情報を届けるための活動に協力してくれた。

## ③ 事前評価時には想定していなかった成果

・「こどもホスピス」の利用のきっかけが、「利用者からの紹介や口コミ」「メディアを通して関心をもった」という割合が過半数以上となっている。利用者による「こどもホスピス」の利用の評価を「他者に勧める」という行動として見せてくれた。



④ 事業計画の改善の必要性の確認

- 社会課題のニーズに事業計画の内容は合致している
- 受益者や事業対象グループのニーズに事業計画の内容は合致している
- 事業計画に記載している活動は、アウトプット⇒アウトカムへのつながりが実際に確認できている
- 残りの期間の資金配分・人員体制・スケジュールは活動を円滑に行えるよう計画されている
- 短期アウトカム指標は、事後評価時に測定し、達成度を評価することが可能な内容になっている



事業の改善状況の評価結果	評価結果の考察
<p>残りの事業期間で、事業が短期アウトカムを達成するために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 事業計画は適切に改善されたといえる</li> <li><input type="checkbox"/> 事業計画を適切に改善する見込みがある</li> <li><input type="checkbox"/> 事業計画の改善について、課題が残っている</li> </ul> <p>と自己評価する</p>	<p>概ね計画通りに進行しているが、実際の利用ニーズに応じた環境づくりやアセスメントツールの内容や運用の仕方など、もう少し利用経験を重ねながら検討し修正していく。新型コロナウイルス感染症の拡大状況にあわせての方法やタイミングや頻度での開催となっているものはあるが、社会状況や利用者への感染の影響を検討しながら、適宜、修正しながら事業を遂行していくことが必要である。</p>

⑤ 中間評価結果を踏まえて今後注力したいまたは早急に取り組みたい事項をお聞かせください。

- ・ こどもホスピスを必要とする人に届けるための活動
- ・ 地域診断の実施（不足している情報の整理）とまとめ

添付資料

活動の写真（画像データは1枚2MG以下、3～4枚程度）